



# 学校だより

平成 29 年 10 月 3 日 発行

第 3 号

阿賀野市立安田中学校

深めよう絆 県民運動

が い じ め 見 逃 し セ ロ ス ク ール

学校・家庭・地域が連携して進めよう

〒959-2221

新潟県阿賀野市保田 4419

TEL 0250-68-3013

## 学校行事の達成感と日常活動の達成感

校長 長谷川 覚

6 月下旬から体育祭の準備が始まり、事前の準備を一生懸命に行った成果が体育祭当日にしっかりと表れていました。この大きな学校行事を無事成し遂げ、生徒一人一人はいろんな成長をしていると感じます。こうした学校行事を通して成長する部分は欠かせないものですが、学校行事の時だけで成長が進むわけでもありません。日々過ごしている学級においても、班活動、係活動としての日常活動においても学校行事と同様の成長が期待できます。もちろん、手を抜いた状態で活動すれば、その効果（成長）は期待できないのは、言うまでもありません。

学校行事での取り組みは、数か月で終わるけれども、そこでの取り組み（目標があり、目標達成のために努力することで成長につながっている点）は、日々の班活動、係活動においても同じなのです。各班が取り組んでくれている、チャイム学習もいろいろな生徒が各教科のチャイム学習に関わり、級友のために取り組んでいる。班員とコミュニケーションをとりながら、「この課題を行ってください」とみんなに指示を出す。この営みの中にも体育祭と同様の営みがあると言えます。そうした視点ももって日々の班活動、係活動を取り組み、小さな成長を重ねてほしいものです。

	例 学校行事体育祭の「応援」	例 学級における日常の「班活動、係活動」
その活動を率先して行う人	応援リーダー	各班員
目標（何のために）	応援賞をとるため （軍のみんなが達成感を得るため）	学級目標達成のため （学級のみんなが住みよいと感ぜられるため・一人一人がやる気を持つため）
達成のためには	みんなで団結して、振り、歌声が高いレベルになる必要がある。 そのようになるために	班員で協力しながら（コミュニケーションを取りながら）活動を創意工夫して行う。
みんなのためにどんな努力をするのか。 ①活動する人（応援リーダー、各班員）自身は何を ②相手に対しては何を	①リーダーたち自身が協力し合ってよい振り、よい替え歌を作り、覚えきる。 ②まず、リーダーが見本となる言動をする。リーダーは、わかりやすく相手に伝える工夫をし、相手がやる気をもって取り組んでもらえるようにする。	①班長がリーダーシップを発揮するとともに、班員相互の個性をお互いが理解して、コミュニケーションを取りながら活動をする。 ②級友に動いてもらう時には、他者に信頼してもらえるよう自分の言動を正し、わかりやすく伝え、動いてもらえるようにする。

## 安田中学校 生徒大活躍！＜夏休み～9月の生徒活動より＞

### 《新潟県中学校総合体育大会》

【陸上部】すべて決勝進出ならず

- 110mH・四種競技
- 4×100mR
- 100m・200m
- 400m・800m
- 四種競技
- 800m・1500m
- 4×100mR
- 走高跳

#### 【柔道】

＜団体戦＞

予選リーグ2位通過 決勝トーナメント 対 小出中3-1 惜敗

＜個人戦＞

- (50kg級) 5位
- (50kg級) 3位 → ☆北信越大会出場
- (66kg級) 2位 → ☆北信越大会出場

#### 【卓球】

＜男子個人＞

- 4位 → ☆北信越大会出場

＜女子個人＞

- 1回戦惜敗

#### 【水泳】

- 100m背泳ぎ・200m背泳ぎ
  - 100m平泳ぎ・200m平泳ぎ
- 北信越大会出場記録突破ならず

### 《北信越中学校総合体育大会》

【柔道】

＜男子個人戦＞

- (50kg級) 1回戦惜敗
- (66kg級) 2回戦惜敗

【卓球】

＜男子個人＞

- 1回戦惜敗



各学級に1台配布しているタブレットには、新聞のレイアウトのようにして作成できるソフトが入っています。ためにしにそれを使って作ってみました。新聞班の参考になれば幸いです。

# 安田中学校新聞

発行者 学校長

## 統制がとれ、整然とした

### 平成29年度 安田中学校体育祭



整然とした行進

めのための話し合いがなされまし  
た。いろんな話し  
合いがなされ、よ  
うやくそれぞれの  
リーダーが確定し  
ました。そこには、  
いろいろな思い  
もあり、

## 素晴らしい体育祭

例年とは違っても肌寒い中、今年度の体育祭が開始されました。6月、生徒会から体育祭のリーダー決めについての説明があり、体育祭の準備がスタートしました。さっそく、各学級で各リーダーを決

見事に気持ちを一つにして飛ぶ大綱遊び



スローガン 限界突破～251人正々堂々戦いを～

話し合いには時間が  
がかかったと聞き  
及びます。  
ある応援リーダー  
は次のように話し  
ていました。「リ  
ーダーとして人の  
前に立ち、指示を  
出してみんなを動  
かしていくことの  
大変さを身にしみ  
ました。指示を出  
すときは、菊川の  
気持ちになって、  
決して上から目線  
ではなく、聞いて  
か、と思ってもら  
えるような、わか  
りやすく、丁寧な  
言い方を心掛け  
た」と言っていま  
した。

それぞれの立場  
で学んでいくこと  
は多くあることで  
しょう。この思い  
やりのある話でリ  
ーダーシップを発  
揮していく良き伝

統を続けていきま  
しょう。



## きれいなラジオ体操 伝統に加えたい

阿賀野市が推奨  
するラジオ体操を  
受けて、授業で声  
をイチ、ニ、イ  
チ、ニ、と出して



準備、片付けも  
テキパキ行動

テント貼りも大  
会です手馴れている



行っています。ひ  
じも伸びている生  
徒が多く、とって  
も見栄えが良いの  
も自慢です。



ことから、素早  
くてきばきと動け  
ていました。骨組  
みもそれぞれのパ  
ーツごとに縛るな  
ど、大したもの

した。各部の担当  
した部分を一生懸  
命行っている姿も  
素晴らしいもので  
した。その姿は、  
下級生が引き継い  
でいくでしょう。

## 指導 思いが込められた生徒会長の挨拶

梁取生徒会長さ  
んは、閉会の挨拶は、その場で  
考え述べたそう  
です。すこい！

## 編集後記

皆さん体育祭、お疲れさまでした。結団式の日からこの日のために各軍団練習から一生懸命取り組んでいる姿がたくさん見られました。特に体育祭リーダーたちは、夏休みからスタートして今日まで、各軍団をよくまとめてくれたと思います。本当にお疲れさまでした。そして、今日、限界突破、251人正々堂々戦いを、このスローガンのもと全校が一丸となってとても白熱した素晴らしい体育祭になりましたとおもいます。

結果はどうあれ、一人一人が全力で戦い抜いたこの体育祭は、中学校生活の思い出の一つに加わったのではないでしょう。そして、今日、早朝からおこしいだいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。(保護者席に向かつて一礼)

みなさん、これから、地域の人や保護者の人の期待にこたえられるような学校生活を送っていきけるようにならば幸いです。終わります。

8月13日(日)・27日(日)新潟日報「ふむふむJ」に掲載されました！



※学区にある「神田酪農」さんに生徒会役員の生徒が取材に伺った様子が二号に渡って掲載されています。

8月28日(月)「羽越水害50周年記念式典」に参加しました。

阿賀野市主催の標記式典に生徒会長の梁取さんと副会長の遠藤さんが参加しました。TV取材を受けて、いくつかのメディアで放送されました。

2人は、「自分たちが生まれる前の出来事だけれど災害のことを改めて学習して、多くの人に語りついでいくことが大切だと感じた。」と話してくれました。



<記念植樹の様子>



9月19日(火)ミニ講演会で  
「働くことの意義」について考えました！  
講師：新潟交通(株)岡田 正和 様

ご自身の転職の経験をもとに、「自分の本当に好きなことでないと仕事として続けていくことは難しかった」「お客様に喜んでいただくためにこれでよいのかを常に考えている」ことなど働くことの大変さと

やりがいについて全校生徒にお話くださいました。2年生は、「これから実施する職場体験でも教えていただいたことを活かしたい」と感想をよせてくれました。



9月28日(木)人権講演会で  
「命の重さ」について考えました！  
講師：南部郷総合病院 教育担当看護師長  
小池 宜子 様

終末期医療である「緩和ケア」を受ける患者さんとの具体的なやりとりから、「自分がどのような終末を迎えたいのかを考えてほしい」「そして、よりよく

生ききってほしい」ことを訴えられました。1年生は、「人はいつ亡くなるかわからない。1日を大切に、悔いのないようにしたい」「周りの人に感謝の気持ちをしっかりと伝えたい」と感想をよせてくれました。